



議第1422号

横浜国際港都建設計画病院の変更  
第1号南部地域総合病院

議第1423号

横浜国際港都建設計画道路の変更  
3・3・11号環状3号線

# 本市の医療提供体制イメージ

- ★ : 地域中核病院
- : 市立病院
- ▲ : 市立大学病院



**北部地域中核病院**  
(昭和大学横浜市北部病院)

**北東部地域総合病院**  
(横浜労災病院)

**東部地域中核病院**  
(済生会横浜市東部病院)

**西部地域総合病院**  
(聖マリアンナ医科大学  
横浜市西部病院)

**南西部地域中核病院**  
(国立病院機構横浜医療センター)

**南部地域総合病院**  
(済生会横浜市南部病院)

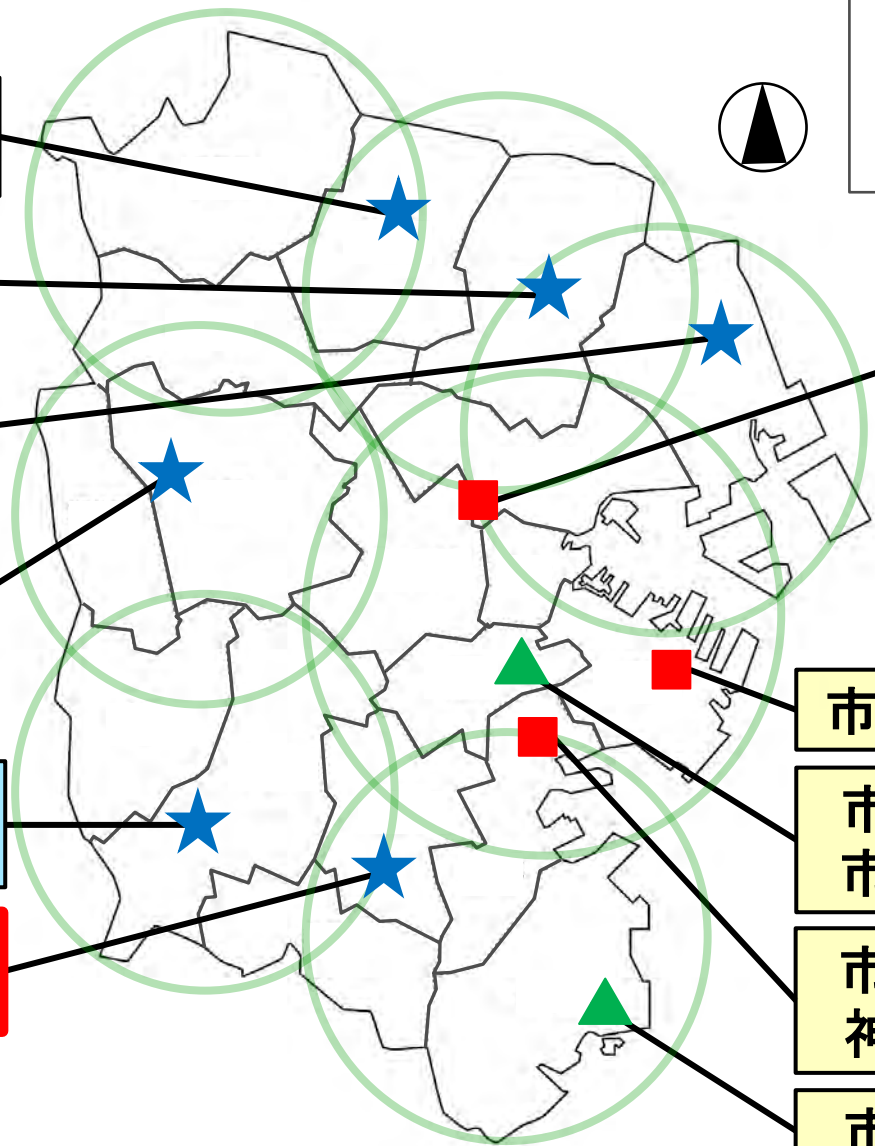
**市民病院**  
(市立市民病院)

**市立みなと赤十字病院**

**市立大学附属  
市民総合医療センター**

**市立脳卒中・  
神経脊椎センター**

**市立大学附属病院**



# ■施設概要

- 市内方面別に整備をした高度な医療機能を有する「地域中核病院」の第1号

開院	昭和58年6月
住所	港南区港南台3丁目2番10号
病床数	500床
外来患者数	約1,000人/日
延床面積	29,420m <sup>2</sup>
主な医療機能	二次救急拠点病院 小児救急拠点病院 産科拠点病院 地域医療支援病院 災害拠点病院 等
診療科数	31科

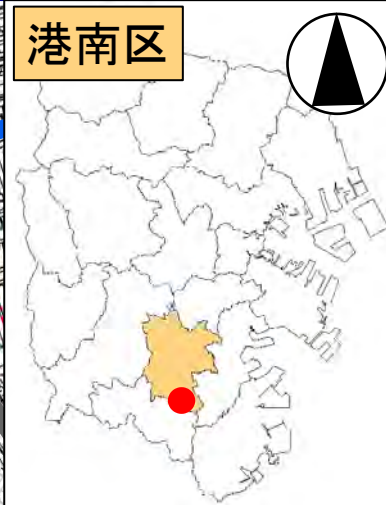
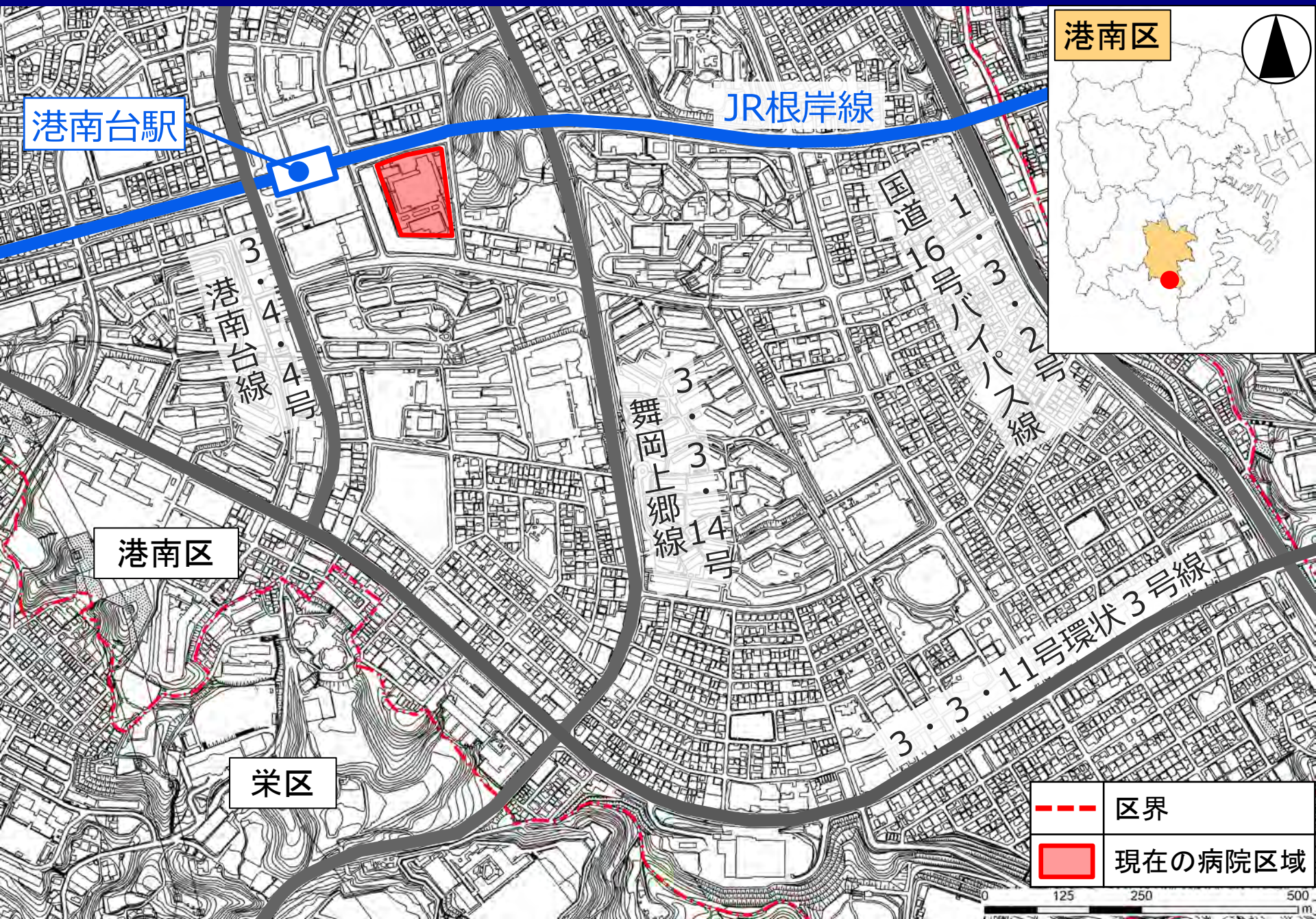




現病院

## 「地域中核病院」

→本市との協定に基づき、救急医療、高度医療等に加えて、がん・小児・周産期など、幅広い政策的医療を提供している

# 位置図



	区界
	現在の病院区域

0 125 250 500



港南台駅

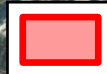
JR根岸線

3・4・4号  
港南台線

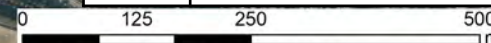
3・3・14号  
舞岡上郷線

1・3・2号  
16号  
国道  
八幡入線

3・3・11号環状3号線

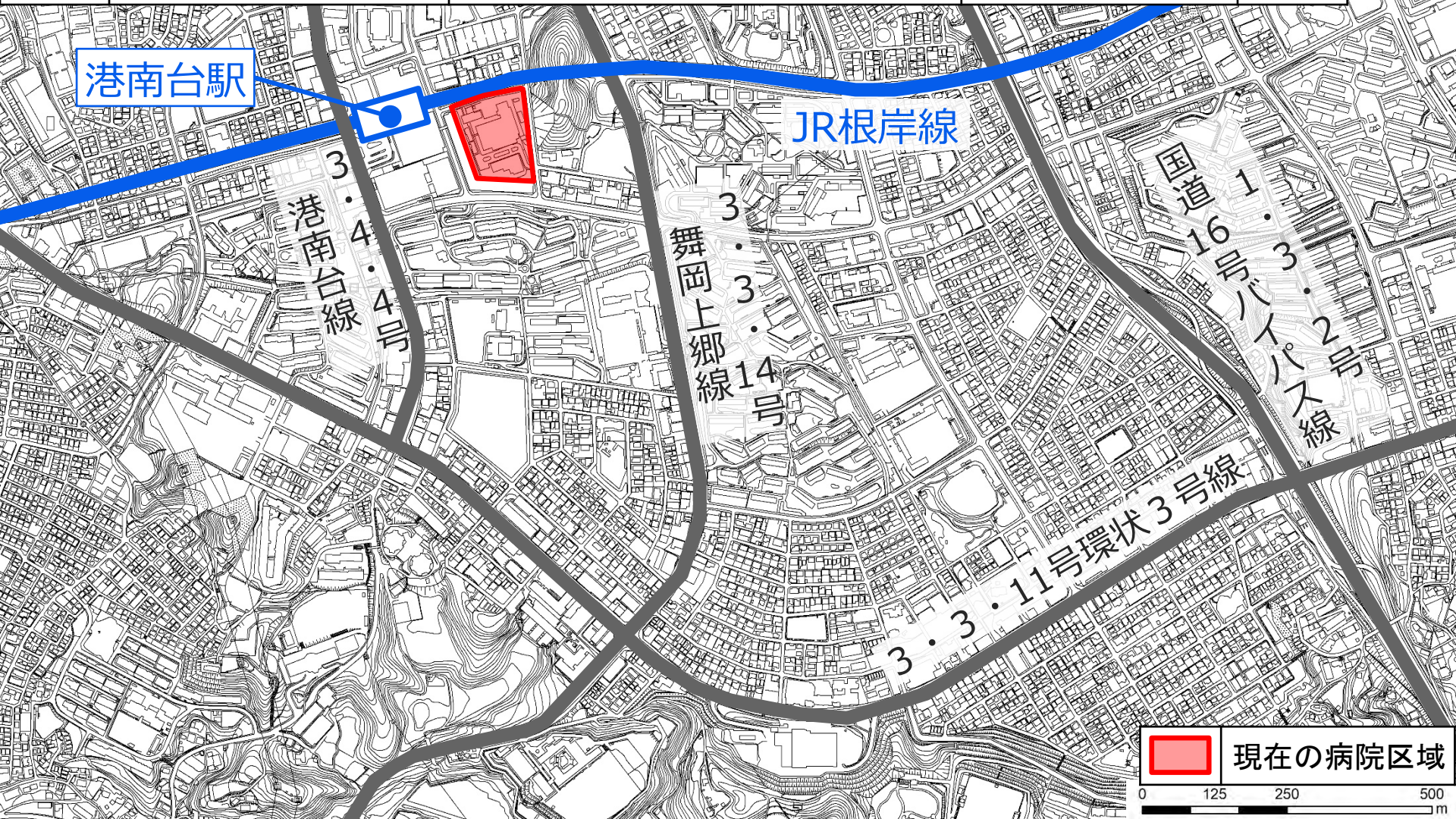
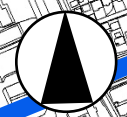


現在の病院区域



# 【病院】現在の都市計画

名称		位置	面積	備考
番号	病院名			
1	南部地域総合病院	港南区港南台三丁目地内	約1.5ha	



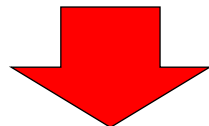
**現在の病院区域**

0 125 250 500 m

# ■移転・再整備の必要性

## 南部地域総合病院

- 昭和58年の開院以来、地域中核病院として本市南部地域医療の中心的な役割を担っている
- 近年の医療ニーズの増大や高度医療の提供により、施設が狭あい化し、現在の敷地では拡充が困難
- 開院から40年以上が経過し、施設が老朽化



移転・再整備を行う

## ■横浜市中期4か年計画 2022～2025

### 政策17 医療提供体制の充実

#### 主な施策2 2025年問題に対応できる地域医療構想の実現

- **老朽化が進んでいる南部病院、労災病院等の地域中核病院や横浜市立大学医学部、附属2病院等について、再整備に向けた支援や検討を進めます。**

※「南部病院」は「南部地域総合病院」のことを指します。

## ■横浜市都市計画マスタープラン 港南区プラン

### 3) 港南区南部地域

#### 基本方針 ①港南台駅周辺の整備＜想定される重点的な取組＞

- **済生会南部病院の再編・再整備**や公共・公益施設の老朽化に伴う再編・再整備

※「済生会南部病院」は「南部地域総合病院」のことを指します。



## ■よこはま保健医療プラン2024（令和6（2024）年3月策定）

### 第Ⅲ章

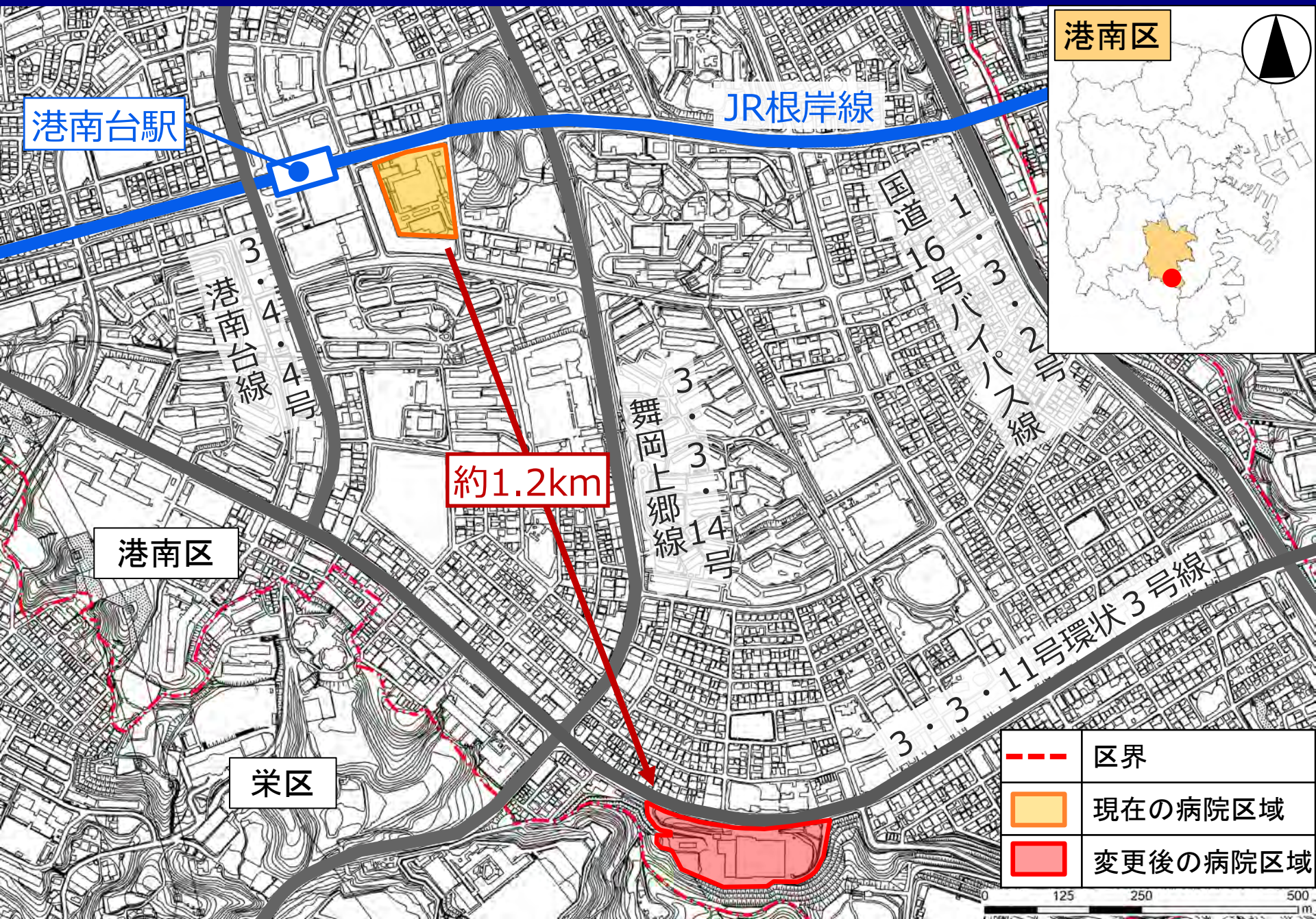
#### 横浜市の保健医療の目指す姿「2040年に向けた医療提供体制の構築」

##### （1）将来において不足する病床機能の確保及び連携体制の構築

- 老朽化が進んでいる南部病院・労災病院等の地域中核病院について、再整備に向けた支援や検討を進める必要があります。

※「南部病院」は「南部地域総合病院」のことを指します。

# 位置図



港南台駅

JR根岸線

港南台線  
3・4・4号




舞岡上郷線  
3・3・14号

国道16号  
1・3・2号  
環状3号線

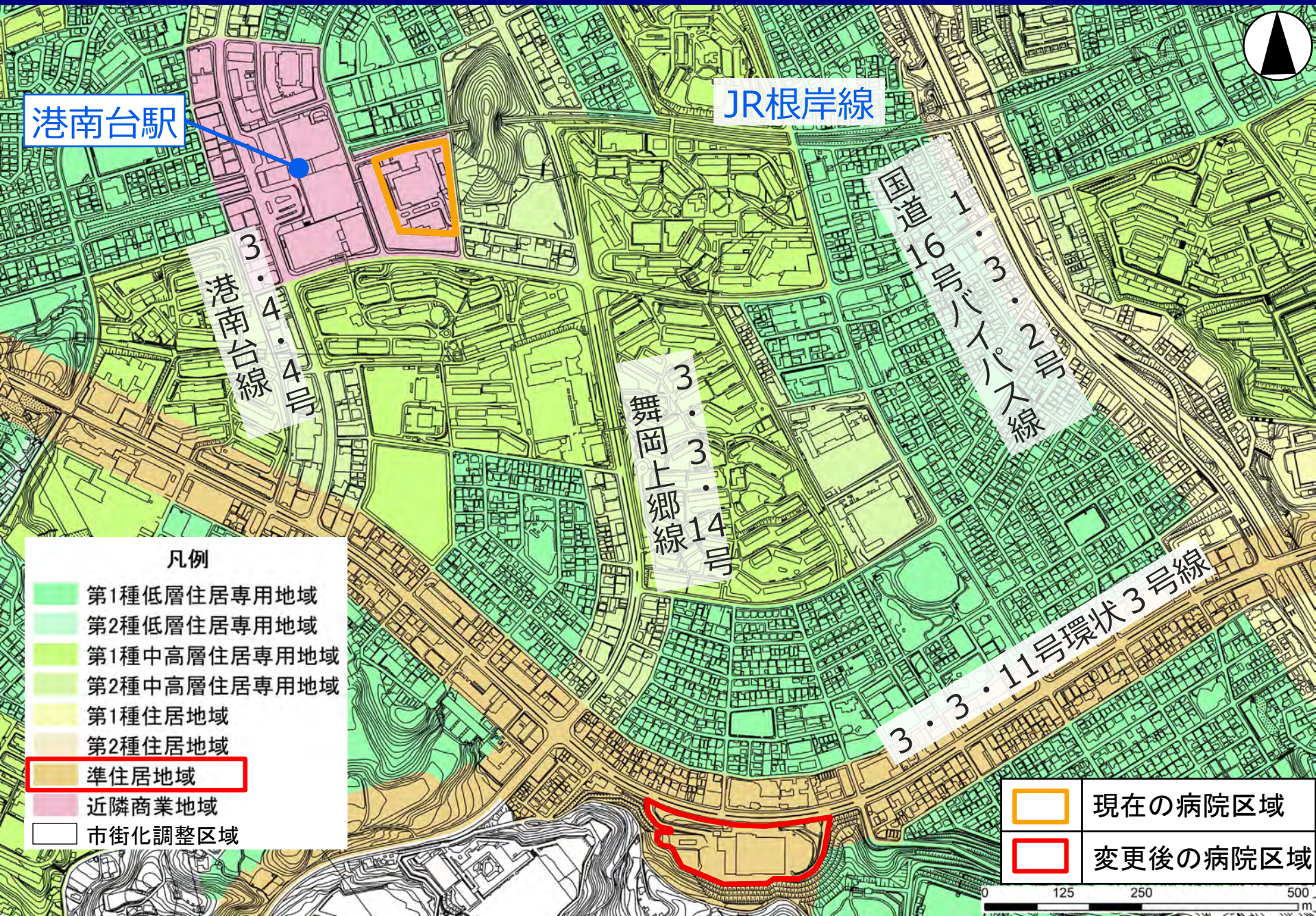
港南区

栄区

約1.2km

	区界
	現在の病院区域
	変更後の病院区域

0 125 250 500



港南台駅

JR根岸線

港南台線  
3・4・4号

舞岡上郷線  
3・3・14号

国道16号  
1・3・2号  
3・3・11号環状3号線

- 凡例
- 第1種低層住居専用地域
  - 第2種低層住居専用地域
  - 第1種中高層住居専用地域
  - 第2種中高層住居専用地域
  - 第1種住居地域
  - 第2種住居地域
  - 準住居地域
  - 近隣商業地域
  - 市街化調整区域

- 現在の病院区域
- 変更後の病院区域

0 125 250 500



3・3・11号環状3号線

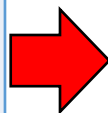
環境センター前交差点

新病院

※現段階の計画であり、詳細について変更することがあります。

## (現病院)

住所	港南区港南台3丁目2番10号
病床数	500床
外来患者数	約1,000人/日
延床面積	29,420m <sup>2</sup>
主な医療機能	二次救急拠点病院 小児救急拠点病院 産科拠点病院 地域医療支援病院 災害拠点病院 等
診療科数	31科



## (新病院)

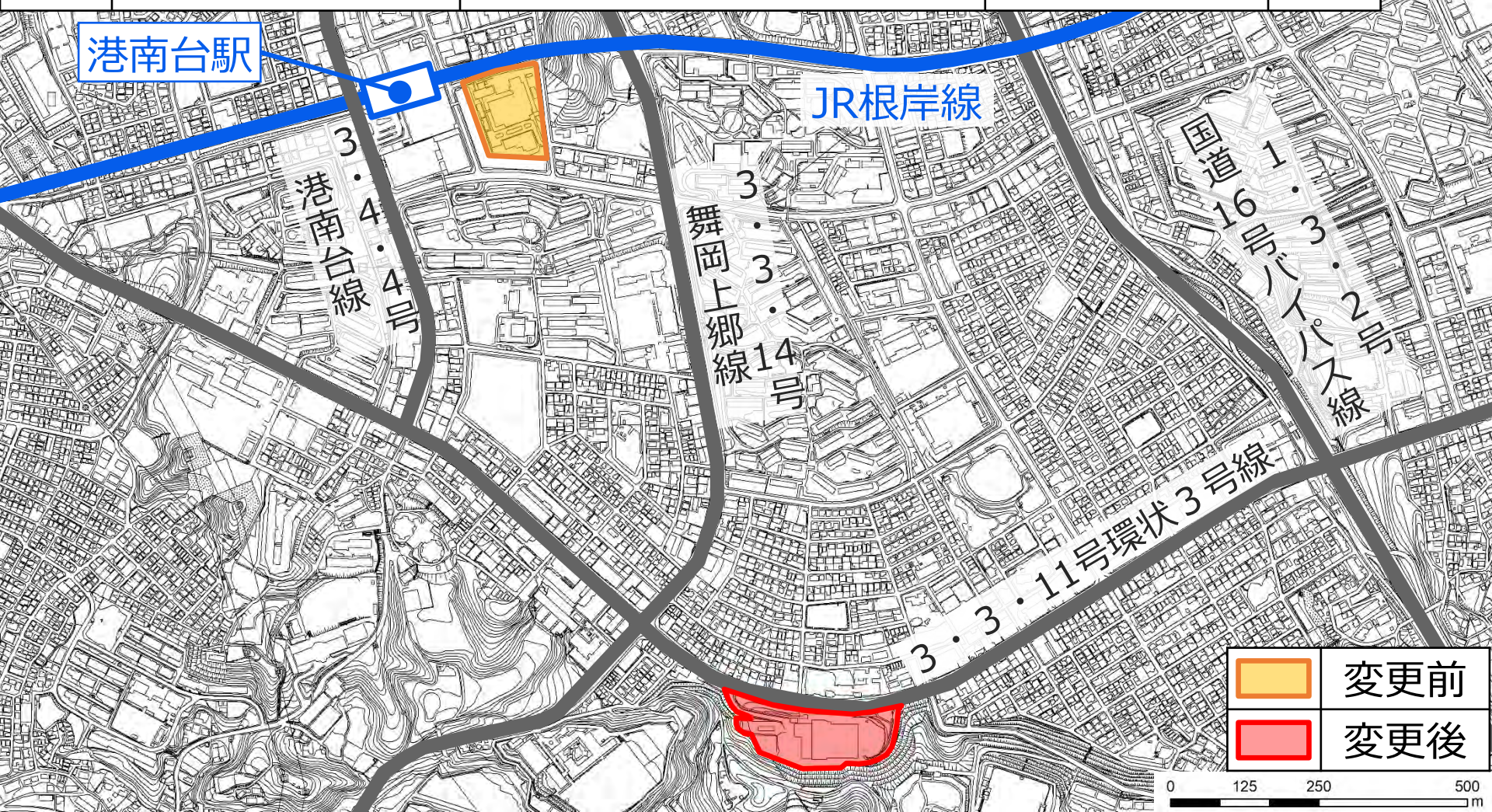
住所	港南区港南台8丁目4番2
病床数	420床
外来患者数	約800人/日
延床面積	約38,000m <sup>2</sup>
主な医療機能	二次救急拠点病院 小児救急拠点病院 産科拠点病院 地域医療支援病院 災害拠点病院 等
診療科数	31科

※現段階の計画であり、詳細について変更することがあります。

※機能拡充等のために必要な規模を確保したうえで、  
医療技術の進歩等による在院日数の短縮化や  
地域の医療機関・介護施設等との連携推進を踏まえて計画。

# 【病院】変更後の都市計画

名称		位置	面積	備考
番号	病院名			
1	南部地域総合病院	港南区港南台三丁目地内 → <u>港南区港南台八丁目地内</u>	約1.5ha → <u>約23,200m<sup>2</sup></u>	



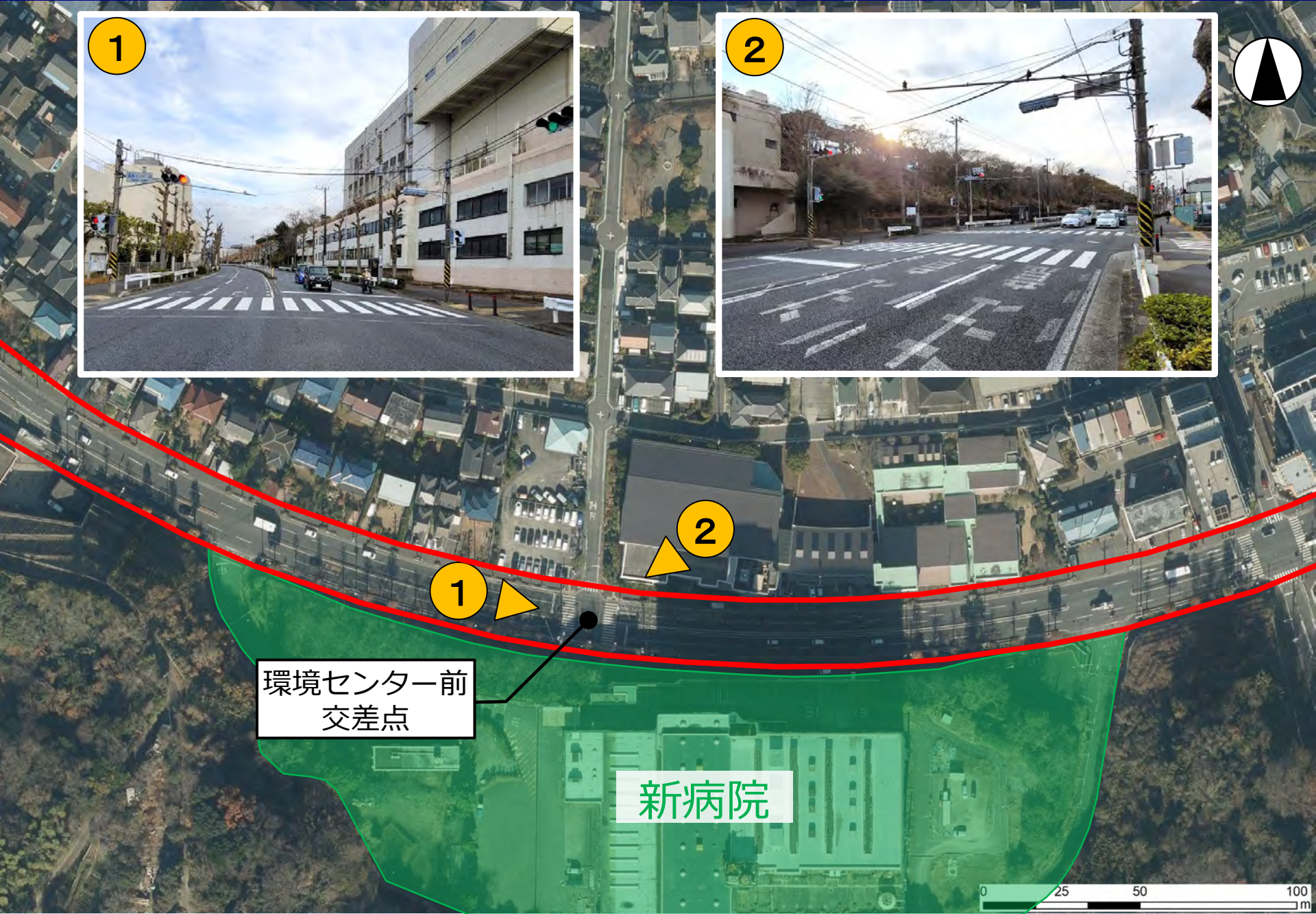
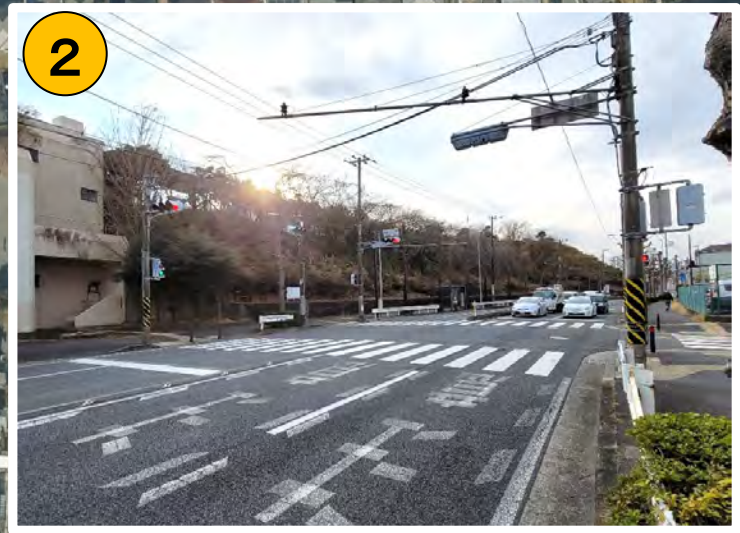
# 3・3・11号環状3号線の路線概要

## 【都市計画内容】

名称 3・3・11号環状3号線  
 起点 磯子区杉田五丁目  
 終点 都筑区佐江戸町  
 延長 約28,280m  
 代表幅員 22m  
 車線の数 4車線

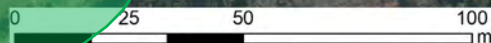


**都市計画変更エリア**



環境センター前  
交差点

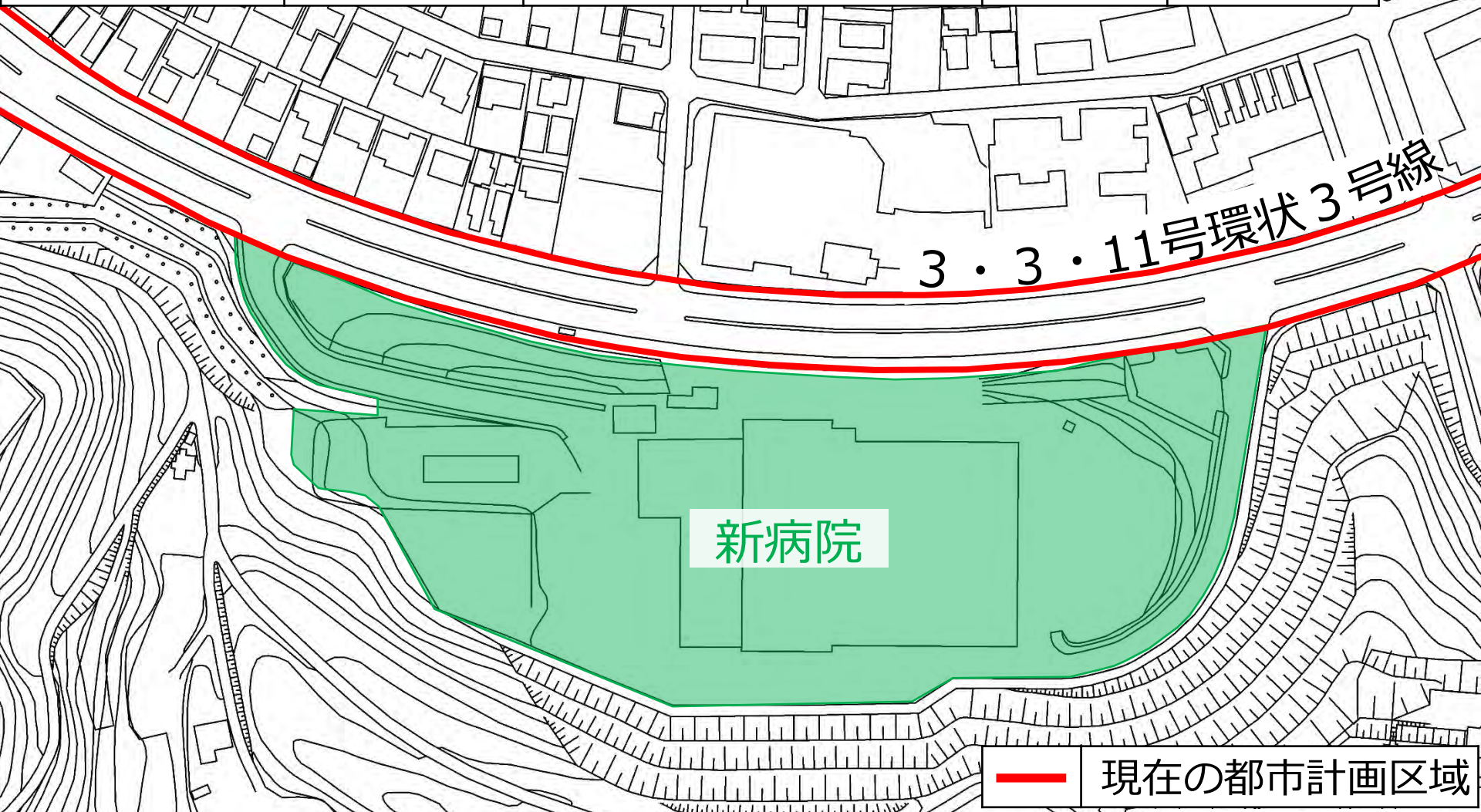
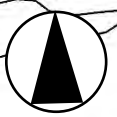
新病院



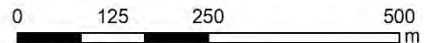


# 【道路】現在の都市計画

名称	起点	終点	延長	代表幅員	車線の数
3・3・11号環状3号線	磯子区 杉田五丁目	都筑区 佐江戸町	約28,280m	22m	4車線



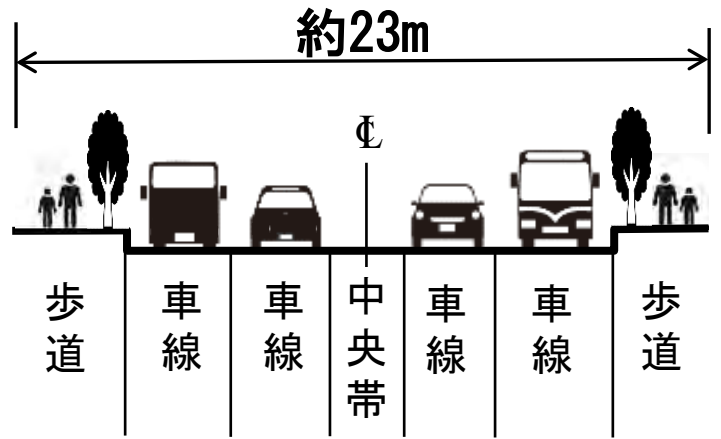
— 現在の都市計画区域



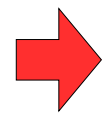
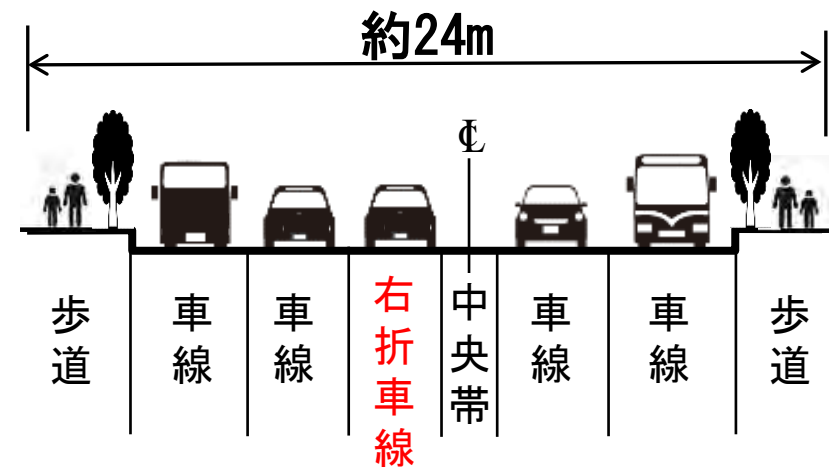
# ■右折レーン整備概要

## 断面図 (交差点付近)

現況

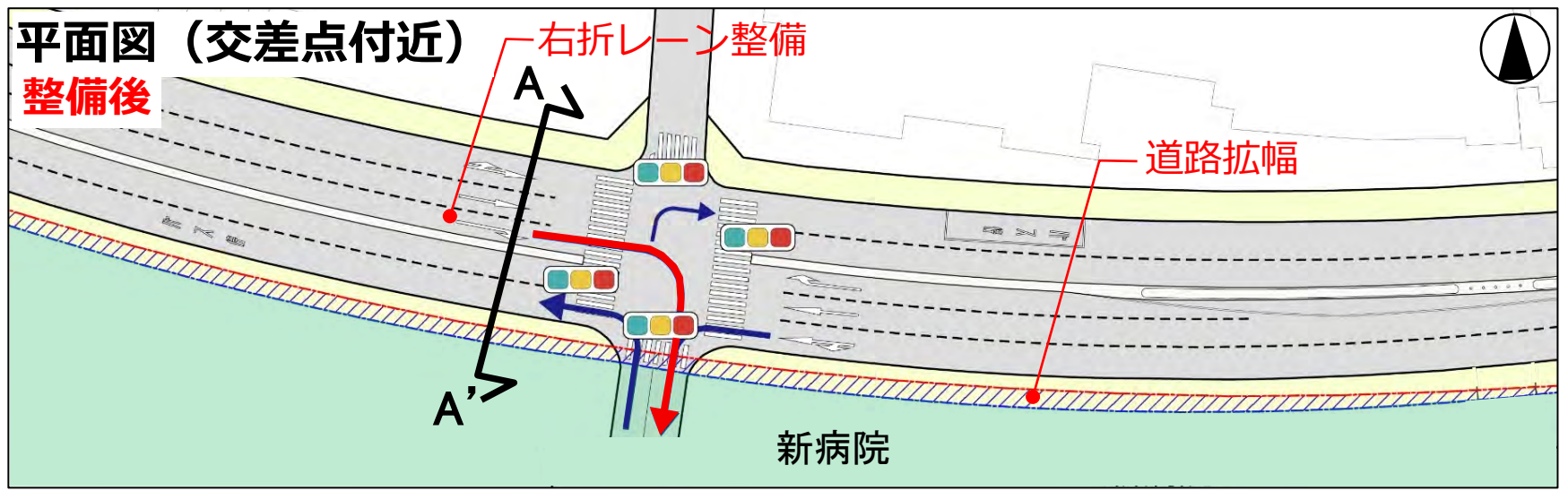


整備後 (A-A'断面)



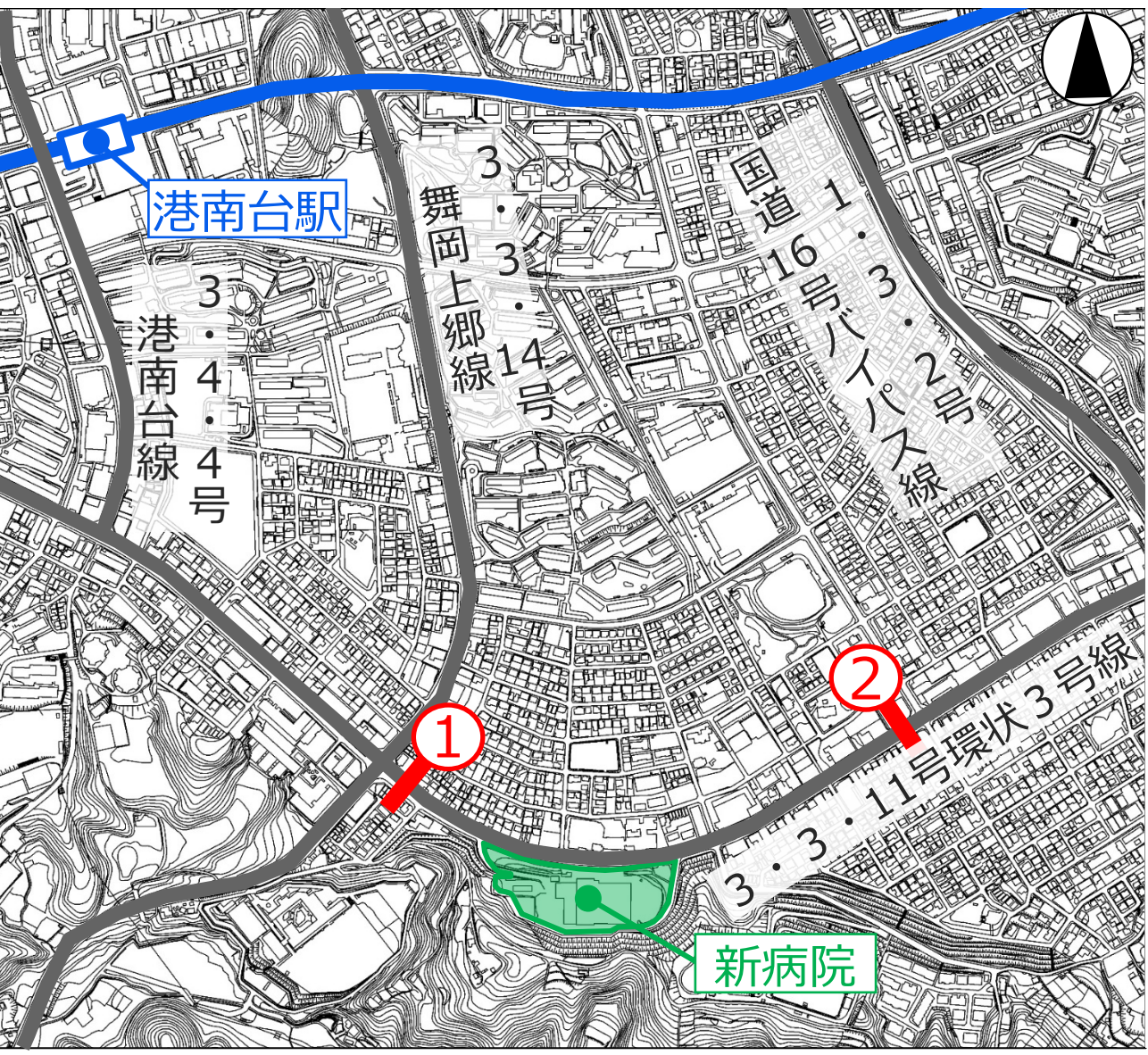
## 平面図 (交差点付近)

整備後



- (red line) : 道路拡幅前の道路境界線
- (blue line) : 道路拡幅後の道路境界線
- ← (blue arrow) : 一般車等の出入動線
- ▨ (hatched box) : 道路拡幅

# 将来交通量推計



## 7時～19時 (12時間)

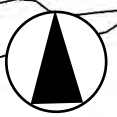
位置	自動車交通量 (台)
①	(現況) 16,786 → <b>17,110 (+324)</b>
②	(現況) 16,679 → <b>16,818 (+139)</b>

## ピーク時：8時～9時

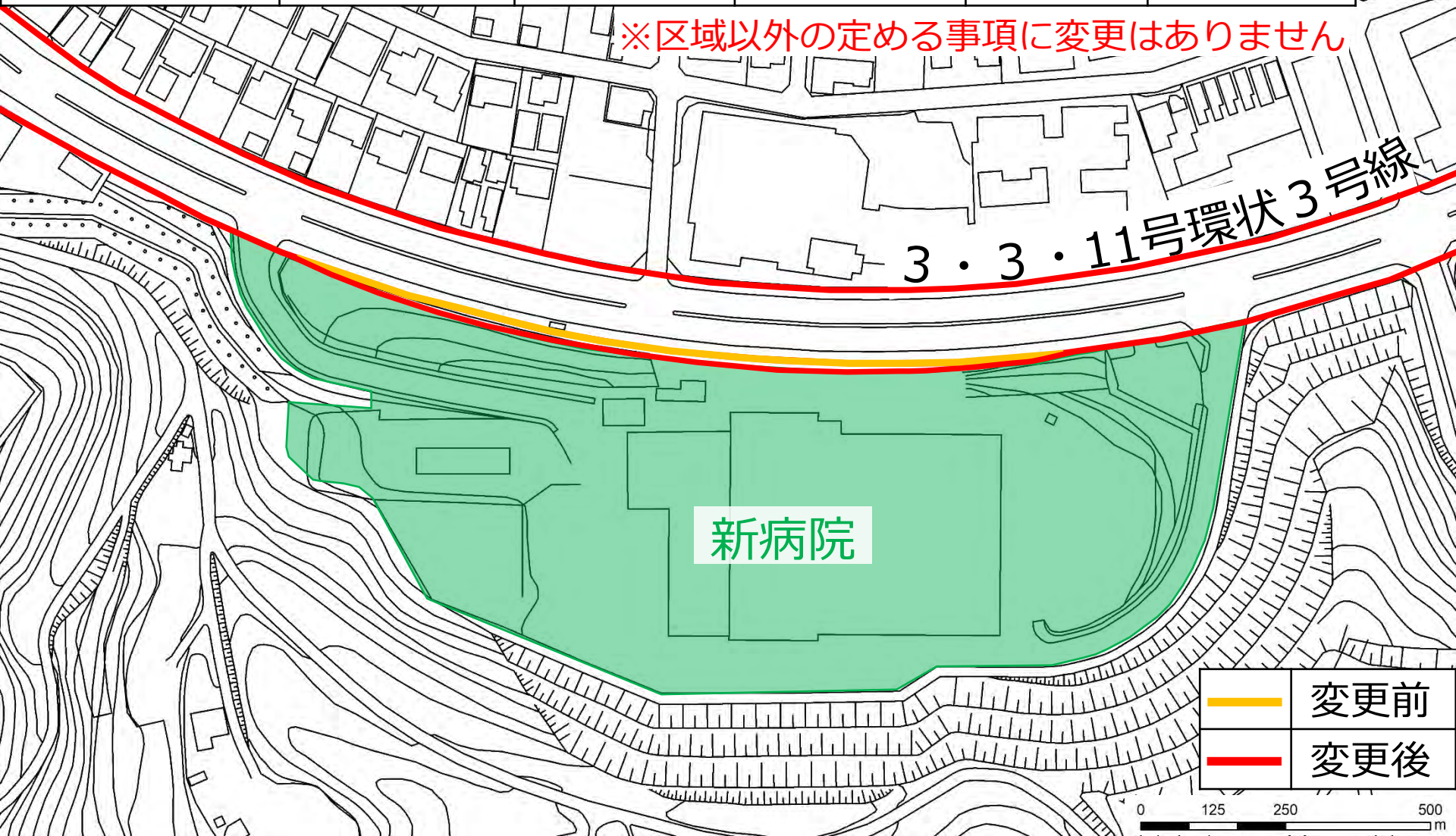
位置	自動車交通量 (台/時)
①	(現況) 1,465 → <b>1,547 (+82)</b>
②	(現況) 1,482 → <b>1,517 (+35)</b>

# 【道路】変更後の都市計画

名称	起点	終点	延長	代表幅員	車線の数
3・3・11号環状3号線	磯子区 杉田五丁目	都筑区 佐江戸町	約28,280m	22m	4車線

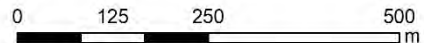


※区域以外の定める事項に変更はありません



新病院

	変更前
	変更後



公聴会の開催	令和6(2024)年5月15日
公述の申出	2名
公述人	2名

※「公述意見の要旨と市の考え方」参照

縦 覧 期 間	自 令和 6 (2024) 年10月25日 至 令和 6 (2024) 年11月 8 日
---------	---

意見書の提出	賛成	0件	0名
	反対	0件	0名
	その他	1件	1名
	合計	1件	1名

※ 「都市計画法案に対する意見書の要旨と都市計画決定権者の見解」 参照

# ■意見の要旨と都市計画決定権者の見解

## 意見の要旨

- 病院が「老朽化」しているとは思えない。  
また、「狭あい化」についても、計画案にある延床面積3万8千㎡が、医療技術の進展等に対応した適切な規模か判断できない。

## 都市計画決定権者の見解

- 開業から40年以上が経過し、**施設の大規模修繕が必要**となっています。  
また、**1床当たりの床面積も約59㎡と他の地域中核病院と比較しても最も狭く、狭あい化も課題**となっていると確認しています。  
**入院患者の療養環境を向上させるとともに、医療機器の大型化に対応し、高度な医療機能を今後も十分に発揮し続けていくために、再整備時には4万㎡程度の規模が必要**となります。

※地域中核病院及び市立・市大病院の1床あたりの床面積(平均):94.6㎡  
再整備後の1床あたりの床面積:80~90㎡

# ■意見の要旨と都市計画決定権者の見解

## 意見の要旨

- 代替候補をどのように検討して候補を絞ったのか、判断過程の全体像が示されていない。

## 都市計画決定権者の見解

- 候補地については、以下の条件で検討しました。

- ①通院や他医療機関との関係から、現在地から大きく変更は困難
- ②地域から「港南台地区から移転しないでほしい」との強い要望
- ③必要な延床面積が確保できる敷地の広さと、救急車のアクセスなど、高度な医療機能を担う急性期病院に適した環境

候補地として、旧港南工場敷地、現病院敷地、港南台中央公園、港南台第1中学校第2グラウンド用地が挙げられましたが、建設に適した広さを確保でき、幹線道路からのアクセスもよい「旧港南工場敷地」が移転先として選ばれました。



# ■意見の要旨と都市計画決定権者の見解

## 意見の要旨

■移転予定地が面している環状3号線が、災害時の第1次緊急輸送路に指定されている点が「盲点」になる。

人の横断や進入車両を遮るのは物理的には不可能であり、災害時に優先順位をつけて交通整理できると考えるのは机上の空論である。

## 都市計画決定権者の見解

■環状3号線は第1次緊急輸送路に指定されており、災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために緊急車両の通行を確保すべき重要な路線で、**災害時には道路啓開作業が最優先に実施されます。**そのため、**災害拠点病院である南部地域総合病院が緊急輸送路である環状3号線沿いに面していることは適していると考えており、本市の災害対応能力向上につながります。**